

イオン鹿児島ショッピングセンター

AEON KAGOSHIMA SHOPPING CENTER

No. 18-006-2010更新

新築
物販

発注者	有限会社 メビウスベータ	カテゴリー				
設計・監理	西松建設(株)九州支店一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	西松建設(株)九州支店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

自然環境配慮型大型ショッピングセンター

本建物は、設計段階から実施、施設運営までのサイクルを総合的に評価しながら、環境負荷低減、省エネ、省資源化を考慮したエコショップです。生産時におけるCO2削減に付いても考慮し計画を行いました。

敷地外環境への配慮

空調設備を全電気方式を採用し大気汚染防止を計りました。

また、汚水廃水処理に除外施設を付加設置し、週末処理場での汚水処理負荷の提言にも寄与しています。



航空写真 1



航空写真 2

「イオン ふるさとの森」による外構緑化

緑化については、敷地境界部に「イオン ふるさとの森」と呼ばれる独自の植栽方法を採用しています。

樹種に関しては、植物学者である宮脇 昭先生のご指導のもと、その土地の気候、風土に最も適したものを選定しています。オープン1ヶ月前に行われる植樹祭では、地域住民の皆様の手によって苗木を植えていただき、より地域に密着した、親しみのある環境作りに貢献しています。

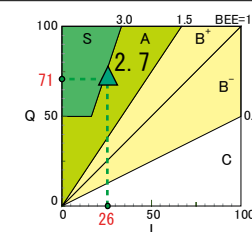


植樹祭風景



植樹祭風景

建物データ	所在地	鹿児島県鹿児島市東開町	省エネルギー性能	PAL削減	13 %	CASBEE評価	Aランク BEE=2.7 2006年度版 自己評価
	竣工年	2007 年					
	敷地面積	99,483㎡					
	延床面積	124,050Y㎡					
	構造	鉄骨造					
	階数	地上5階					



自然エネルギー利用（太陽光発電）

自然エネルギー変換利用として、太陽光発電パネルを外構の一部とバス停の待合建屋の屋根、屋上駐車場の一部に設置し、環境エネルギーの利用啓発にもつながっています。

他に、駐車場サイン照明や移動式粉末消火器の赤色灯に太陽光発電パネルを採用しています。



太陽光発電パネル（地上部・バス停屋根）



太陽光発電パネル（屋上駐車場）

資源の再利用

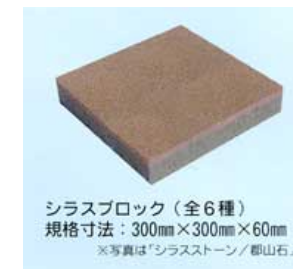
躯体コンクリートには高炉セメントや再生骨材の採用を行い、外装材（木製ルーバー）には木材チップを原料とした再生素材品などを利用しています。

また、地元鹿児島のシラスを活用した舗装用ブロック（シラスブロック）を採用し、舗装面温度制御効果によりヒートアイランドの緩和、高保水性構造により下水道負荷の低減に貢献しています。

その他、再生磁気タイル、再生アスファルト、再生木材、間伐材丸太の利用など「リサイクル材の採用」を積極的に行いました。



再生木ルーバー



シラスブロック（全6種）
規格寸法：300mm×300mm×60mm
※写真は「シラスストーン/郡山石」

シラスブロック



木製ルーバー（再生材利用）



シラスブロック（写真右下部分）

まとめ

以上のような環境配慮・対策を行った結果、自己評価ではありますが、CASBEE評価はAランク BEE=2.7を達成しております。

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3.1 生物環境の保全と創出（「イオンふるさとの森」の手法による外構緑化）
- LR1.2 自然エネルギー利用（太陽光発電パネルの採用）
- LR1.3 設備システムの高効率化（センサー制御、ゾーン別制御、外気冷房装置、ファンインバーター装置）
- LR2.1 水資源保護（節水節電型自動水洗の採用、除外施設の設置）
- LR2.2 非再生性資源の使用量削減（再生建築資材の積極的利用）
- LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避（PRTR法対象物質使用回避）